



## 平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業 推進校実施報告書

- 1 学校名 : 広島県立三次高等学校
- 2 実施日時 : 2016 (平成 28) 年 12 月 2 日 (金)
- 3 対象 : 全校生徒 (630 名)
- 4 派遣オリンピック : 星 奈津美さん (競泳 : 200m バタフライ ロンドン・リオ 銅メダル)
- 5 授業内容 : 講演

ロンドン五輪・リオ五輪の競泳 200m バタフライ銅メダリストであり、現在はミズノスイムチームのアシスタントコーチをされている星奈津美さんは、この度、「水泳が私に教えてくれたもの」というテーマで全校生徒 630 名を対象に講演をされました。

星さんは、ご自身と水泳との関わりについて、1 歳半から兄の影響で水泳をはじめたこと、はじめはオリンピックに出場するような素質はないと思っていたものの、誰よりも水泳が好きであり、また小学 1 年生時の作文には既に“オリンピックに出場する”という夢をつづっていたこと、200m バタフライという種目に出会い、その後の競技生活への希望をもつ事ができたことなどをお話しされました。

また、オリンピック 2 大会連続銅メダルを果すまでの過程においては、バセドウ病との闘いや、世界水泳で 0.01 秒差でメダルを逃した悔しさ、手術や練習拠点を移すといった大きな決断などがあったこと、その中で当たり前のように自分が競技をすることができていることや、支えてくれる家族、コーチ、周囲の方々への感謝の気持ちを強く持ったと言います。

このようなお話しを踏まえ、最後には、悔しさを乗り越え、自分に負けない強い気持ちを持つことや、感謝の気持ちとともに謙虚な姿勢でひたむきに努力し、夢・目標を持ち続けることの大切さについて、全校生徒にメッセージを伝えられました。

講演を聞いた生徒からは、事後のアンケートにおいて、「星さんの講演を通して、スポーツの良さを改めて感じる事ができた」、「スポーツへの関心が高まった」、「大人になっても何かスポーツを続けて行こうと思った」などのほか、「オリンピックを身近に感じる事ができた」、「2020 年東京オリンピック・パラリンピックは、是非生で観戦したくなった」、「ボランティア等に関わりたいと思う」といった感想が挙げられるなど、スポーツやオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった様子が見られました。

また、「自分も夢や目標に向かって頑張ろうと思った」、「スポーツに限らず、今後の人生においても夢や目標を持ち、後悔のないように努力しようと思う」など、苦難や挫折を乗り越え、後悔のない競技生活を送られた星さんの姿に感銘を受けた感想も見られるなど、生徒にとってはスポーツのみならず、自身の今後の生活についても考える良い機会となったようでした。

## 6 授業の様子



自身の経験をもとに、夢や目標に向かって努力することの尊さを伝えた星さんの講演では、生徒全員が真剣な眼差しで聞き入っていました。



質疑応答や代表生徒による謝辞では、星さんの講演を踏まえた自分なりの質問や考えを星さんに伝えていました。



講演後には、全校生徒との集合写真撮影や、水泳部員との記念撮影を行いました。星さんの講演を聞いた生徒の表情はとても輝いており、大変有意義な講演となりました。